

受付番号	1		
許可番号	大歯医倫 第 110923 号		
研究課題名	含フッ素有機化合物によるプラーク形成抑制効果の検討		
研究責任者	津田 進	申請者	津田 進
研究終了日	2019 年 3 月 31 日		
所 属	化学教室	所 属	化学教室
職 名	助教	職 名	助教
申請の概要			

う蝕は歯面上でプラークが形成されることを起点として進行する。一般的に、我々はブラッシングによって、このプラークを物理的に除去し、う蝕の進行を抑制させている。このような背景の中で、本研究では、歯表面もしくは矯正器具等の金属表面を分子レベルで化学修飾することによって、これら表面におけるプラーク形成を簡便に抑制する手法を開発することを目的とする。テフロンは撥水性、撥油性の両方を兼ね備えた物質として知られており、テフロンと同様の分子構造を有する含フッ素有機化合物を用いて、化学的表面処理を施すことができれば、細菌の付着を抑制し、プラーク形成の阻害につながると考えられる。したがって、撥水・撥油の両性質を有した化合物に着目し、ヒドロキシアパタイトもしくは各種金属表面の化学処理によるプラーク形成抑制効果を評価する。